

「生徒の希望や夢を育む学校」

将来の予測が難しい現在、学校教育に求められる内容は変化し、多様化している。各教科指導においても生徒が身につけるべき資質、能力は変化しており、授業のアップデートが必要である。しかし、家庭や地域と連携し、『生徒の健やかな「成長」支える』という学校の役割は不易である。

生徒の成長、自己実現のために、諸事業や取組を見直し、合理性と優先性を見極めながら、人と人との関り、様々なつながりを大切にし、多くの活動をリアルで実施することを基本としたい。さらに学校教育を校内に閉じず、豊かな教育力をもつ地域と、積極的に連携を図る。

生徒の活動においては、自主、自律、自治を重視し、松江四中への帰属意識、自己肯定感、自己有用感を育む取り組みを積極的に推進する。

松江第四中学校の生徒、保護者、教職員、地域の方々にとって
松江四中を「誇りに思える学校」を目指す。

目指す生徒像

向上心を持ち、自らの成長を心がける生徒

誰にでも挨拶ができる生徒

- 自らすすんで学び、対話を通して深く考える生徒
- 自他を大切にし、人を思いやり、上手に接することができる生徒
- 松江四中や地域を愛し、広い視野をもち仲間や社会に貢献できる生徒

目指す教職員像

自らが成長していく教職員

生徒の成長をめざし、教科指導、生徒指導、進路指導においても日々の改善を心がけたい。そのために、常に学び続け成長していく教職員集団をめざす。松江四中教職員としての同僚性を高めるとともに、切磋琢磨・自己研鑽に励み、生徒のための教育活動を実践していく教職員集団を目指す。

- 生徒をよく理解し、対話を大切にしながら接することができる教職員
- 生徒の成長と自己実現のために、生徒の学びを支援できる教職員
- 保護者や地域の願いを理解し、これからの社会を生き抜く生徒を育成できる教職員
- 自らも学び続け、新しいことに積極的に挑戦する教職員

令和7年度の重点目標

- (1) 確かな学力の向上・健やかな体の育成
 - ① 毎時間の授業の充実、日々の授業改善、授業時数の確保
 - ② 家庭学習の充実、支援
 - ③ 読書科、総合的な学習の時間の充実
 - ④ 体力向上に向けた取り組み
- (2) 豊かな生徒理解に基づく生徒指導、自己有用感を高める指導の実践
 - ① 不登校生徒の減少、新たなる出現防止
 - ② 生徒主体の行事、活動の充実（自治力）
 - ③ 特別支援教育の充実
 - ④ 道徳教育の充実
- (3) 「チーム松四」の構築（学校・保護者・地域）
 - ① 内外人材との連携、専門的能力の活用
 - ② 組織運営の強化
 - ③ 家庭・地域との連携
 - ④ 情報発信の充実、学校関係者評価の活用

松江四中の全教職員がともに取り組むためのスローガン

生徒のためのフットワーク：生徒のことを第一に考え、迅速に行動します。

仲間のためのチームワーク：教職員は互いに助け合い、協働し、明るい職場をつくります。

学校のためのネットワーク：報告・連絡・相談を欠かさず、生徒・教職員・保護者・地域との強い絆をつくります。